

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成25年4月25日 (2013.4.25)

【公開番号】特開2011-191926(P2011-191926A)

【公開日】平成23年9月29日 (2011.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2011-039

【出願番号】特願2010-56405(P2010-56405)

【国際特許分類】

G 0 8 G 1/16 (2006.01)

G 0 1 C 21/26 (2006.01)

【F I】

G 0 8 G 1/16 C

G 0 1 C 21/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月12日 (2013.3.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

自車両の位置を検出する自車位置検出手段と、  
前記自車両の走行方向を検出する走行方向検出手段と、  
道路の進行方向が一方向のみ設定されている一方向通行道路を少なくとも含む複数の道路が接続されている接続点の位置情報を含む地図情報を記憶する地図情報記憶手段と、  
前記地図情報記憶手段が記憶している地図情報に基づいて、前記走行方向検出手段が検出した前記自車両の走行方向の前方にある前記接続点を判定ポイントに設定する判定ポイント設定手段と、

前記判定ポイントに接続されている一方向通行道路に対して設定されている前記進行方向と前記自車両の走行方向とに基づいて、前記自車両が前記一方向通行道路を逆走しているか否かを判定する逆走判定手段と、

前記判定ポイント設定手段が設定した前記判定ポイントに接続されている複数の道路のうちいずれか少なくとも一つの道路に対して、通過待ち判定エリアを設定する通過待ち判定エリア設定手段と、

前記自車両が前記一方向通行道路を逆走しているかどうか判定するための即時有効判定エリアを設定する即時有効判定エリア設定手段と、

前記通過待ち判定エリアまたは前記即時有効判定エリアのいずれかを設定すべきエリアとして選択するエリア選択手段とを備え、

前記エリア選択手段により前記即時有効判定エリアが選択された場合、前記即時有効判定エリア設定手段により前記即時有効判定エリアを設定し、

設定された前記即時有効判定エリアに基づいて、前記逆走判定手段により前記自車両が前記一方向通行道路を逆走しているか否かを判定することを特徴とする車両逆走検出装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の車両逆走検出装置において、

前記自車両が前記通過待ち判定エリアを通過したときに、前記通過待ち判定エリアを前記即時有効判定エリアに変更し、変更後の前記即時有効判定エリアに基づいて、前記逆走

判定手段により前記自車両が前記一方向通行道路を逆走しているか否かを判定することを特徴とする車両逆走検出装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の車両逆走検出装置において、

前記判定ポイントに第一の道路種別の道路が接続されている場合、または、前記判定ポイントが所定の場所を表す場合、前記自車両が走行する道路に対して、判定終了エリアを設定する判定終了エリア設定手段と、

前記自車両が前記判定終了エリアを通過したとき、設定済みの前記即時有効判定エリアおよび前記通過待ち判定エリアを削除する第一のエリア削除手段とをさらに備えることを特徴とする車両逆走検出装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の車両逆走検出装置において、

前記第一の道路種別は、一般道路を含むことを特徴とする車両逆走検出装置。

【請求項 5】

請求項 3 または 4 に記載の車両逆走検出装置において、

前記所定の場所は、有料道路の料金所を含むことを特徴とする車両逆走検出装置。

【請求項 6】

請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の車両逆走検出装置において、

前記即時有効判定エリア設定手段は、前記判定ポイントに接続されている複数の道路のうち第二の道路種別の道路には前記即時有効判定エリアを設定しないことを特徴とする車両逆走検出装置。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の車両逆走検出装置において、

前記第二の道路種別は、有料道路の休憩施設内の道路を含むことを特徴とする車両逆走検出装置。

【請求項 8】

請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の車両逆走検出装置において、

前記自車両の走行方向の後方にあり、前記自車両から所定の距離以上離れている前記即時有効判定エリアおよび前記通過待ち判定エリアを削除する第二のエリア削除手段をさらに備えることを特徴とする車両逆走検出装置。

【請求項 9】

請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の車両逆走検出装置において、

前記逆走判定手段により自車両が逆走していると判定されたときに音声または画像により逆走していることを運転手に報知する報知手段をさらに備えることを特徴とする車両逆走検出装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明による車両逆走検出装置は、自車両の位置を検出する自車位置検出手段と、自車両の走行方向を検出する走行方向検出手段と、道路の進行方向が一方向のみ設定されている一方向通行道路を少なくとも含む複数の道路が接続されている接続点の位置情報を含む地図情報を記憶する地図情報記憶手段と、地図情報記憶手段が記憶している地図情報に基づいて、走行方向検出手段が検出した自車両の走行方向の前方にある接続点を判定ポイントに設定する判定ポイント設定手段と、判定ポイントに接続されている一方向通行道路に対して設定されている進行方向と自車両の走行方向とに基づいて、自車両が一方向通行道路を逆走しているか否かを判定する逆走判定手段と、判定ポイント設定手段が設定した判

定ポイントに接続されている複数の道路のうちいずれか少なくとも一つの道路に対して、通過待ち判定エリアを設定する通過待ち判定エリア設定手段と、自車両が一方向通行道路を逆走しているかどうか判定するための即時有効判定エリアを設定する即時有効判定エリア設定手段と、通過待ち判定エリアまたは即時有効判定エリアのいずれかを設定すべきエリアとして選択するエリア選択手段とを備え、エリア選択手段により即時有効判定エリアが選択された場合、即時有効判定エリア設定手段により即時有効判定エリアを設定し、設定された即時有効判定エリアに基づいて、逆走判定手段により自車両が一方向通行道路を逆走しているか否かを判定することを特徴とする。